

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2006年 4月号

平成18年3月25日発行
通巻88号



◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

●津市・みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／オールウェイズ(津センターパレス1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市・特定非営利活動法人みえきた市民活動センター ●四日市市・四日市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿市・市民活動情報ネットワークすずかのぶどう ●松阪市・三重中央大学／松阪市市民活動センター／松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪」 ●伊勢市・特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市・鳥羽NPOネットワークセンター ●結 ●名張市・名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同窓 ●伊賀市・ウィリアムテルズ・アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町・明和町市民活動サポートセンター ●南伊勢町・南勢町市民活動連絡協議会
【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県民サービスセンター(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町村役場

みえの舞台づくり百人委員会の公募委員募集

三重県では、総合計画「県民しあわせプラン」次期戦略計画(平成19～22年度)の策定にあたり、地域社会で自ら率先して活動している県民の皆様からのご意見やご提案をいただくことを目的に、「みえの舞台づくり百人委員会」を設置するため、公募委員の募集を行います。

- 応募締切／4月17日(月)必着
- 仕事の内容／(1)年2回、全体会議を開催し、知事と意見交換を行います。(2)地域会議を全体会議の間に2回開催します。うち、1回は「知事と語ろう本音でトーク」との同日開催になります。(3)次期戦略計画の策定に関する資料をお送りしますので、ご意見があれば、いただきます。(4)任期は、平成19年3月31日までです。

●交通費等／謝礼はお支払いませんが、通信費用等として一律10,000円をお支払いします。また、全体会議及び地域会議に出席された際の交通費をお支払いします。

●応募資格／次の(1)～(4)の条件を満たす15歳以上の方。

- (1)地域をより良くする活動に参加されている方
- (2)三重県内に居住、通勤又は通学されている方、若しくは地域をより良くする活動に三重県内で参加されている方
- (3)年2回の全体会議及び2回程度の地域会議に出席できる方
- (4)ご自身の活動経験をもとに、次期戦略計画の策定に際し、県政へのご意見やご提案をいただける方

●応募要件／ご自身の活動経験をもとに、「地域をより良くする活動実績」及び「次期戦略計画の策定に向けての県政への提案内容」を記入(それぞれ400～800字程度)してください。

●募集人数／100名程度

●申込方法／応募用紙に必要事項を記入し、下記まで持参するか、郵送、FaxまたはE-mailで送付。応募用紙はホームページ(<http://www.pref.mie.jp/SHIAWASE/HP/jiki/bosyu.htm>)からダウンロードできます。

●応募・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地

Tel.059-224-2062 Fax.059-224-2075

(3月31日まで)

三重県総合企画局政策推進室計画推進グループ E-mail seisaku@pref.mie.jp

(4月1日から)

三重県政策部企画室計画・文化力・県土づくり担当 E-mail kikakuk@pref.mie.jp

つながる つなげる 12 県ボランティアセンター 北出真由美

このごろ、「シニア世代」「セカンドライフ」「セカンドステージ」といった言葉に触れる機会が多くなったと思いませんか?

1947～49年頃の第1次ベビーブームの時期に生まれた人々の多くが来年少、定年を迎えます。それにあたって、「まだまだ」「さらに」「あらたに」活躍してもらおう!と様々な分野からのアプローチが始まっています。そのなかでも、「シニア」「セカンド」といった言葉がよく登場します。

さて、そのアプローチをする側に、もちろん、社会福祉協議会のボランティアセンターも含まれます。定年後の活躍の選択肢のひとつに「ボランティア」を入れてもらうためです。ただ、この「ボランティア」に関わるのは、当然のことですが、社会福祉協議会だけではなく、NPO団体などで活躍する人もみえます。ということは、関連する複数の団体で取り組む方が効果ありともいえます。このアプローチに興味ありという方、ぜひぜひご連絡ください!

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

はじめ の 一歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

市民活動ボランティアニュースを受け取っている個人や法人格を持たない団体の方にアンケートを実施し、今回のニュースに反映しています。いただいたご意見に、確かにそうだ、なるほどという示唆を受けましたので、できることから取り組んでいこうと思います。

さて、市民活動ボランティアニュースは、創刊当時から、市民自らがつくる市民活動情報誌であることを大切にしてきました。政治活動や、宗教活動など市民活動以外は、ほとんど載せています。今回、アンケートの中には、こういったイベントをやりたい等の意見がありました。今後も市民の自発的な取組を中心にしたと思います。もし、こんな活動があったらいいのに!ということがありましたら、是非、ネットワークの呼びかけに投稿してみてください。その思っていることは、きっと誰か、そうだったらいいなと思っています。これからも市民活動ボランティアニュースをよろしく願います。

三重県生活部NPO室 森下道大(もりした みちひろ)

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いております。

●認証申請団体

- (1)名称 (2)代表者氏名 (3)法人事務所の所在地
- (1)中部国際フォーラム (2)河上和也 (3)北牟婁郡紀北町海山区引本浦879番地2
- (1)日本ザ・チャレンジゴルフ協会 (2)小池健夫 (3)津市片田長谷町30番地
- (1)三重難病連 (2)北條ます (3)四日市市天力須賀五丁目1番6-6号
- (1)自利利他(じりりた) (2)山本雅則 (3)伊勢市本町6番19号
- (1)みんなのひろば (2)尾松利彦 (3)四日市市堀木一丁目2番25-910号
(平成18年2月15日～平成18年3月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人芝生のグラウンドを愛する会(平成18年2月1日)
- 特定非営利活動法人NPOちょっと自然(平成18年1月30日)
- 特定非営利活動法人三重ダルク(平成18年3月1日)
- 特定非営利活動法人御在所岳環境パトロール隊(平成18年3月2日)
(平成18年2月15日～平成18年3月14日届出分)

イベントスケジュール

伊賀上野NINJAフェスタ2006 春の日に 忍者になろう 伊賀の里



●とき/4月1日(土)～5月7日(日)

●ところ/主に伊賀市街地と上野公園
●内容/豪華賞品が当たる「まちなか忍びの者を捜せ!其ノ四」や城下町まるごとスタンプラリーは期間中の平日も開催。土日祝日には忍者犬変身処や忍者変身処で忍者衣装を着て、町を歩くこともできます。その他、日替わりイベントや協賛イベントも満載。詳しくはホームページなどをご覧ください。

●問い合わせ先/伊賀市上野支所産業振興課商工観光係
Tel.0595-22-9670

【開催期間中の土・日・祝】伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会事務局本部 Tel.090-2681-4111

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp/>



五十鈴塾「筍掘りと筍ご飯」

●とき/4月6日(木)AM10:00～PM1:00

●ところ/伊勢市藤里町

●参加費/会員1000円・一般1500円(食材費含む)

●内容/講師は相可富久男さんです。春の声を聞くと筍が土の中でムクムクと伸びている様子が気になります。今年も塾で恒例になっている筍掘りに出かけましょう。事務局が用意した竹皮に包んだ筍ご飯のオムスピを持って、もちろん収穫した筍はお土産に。

●持ち物/筍掘りができる格好、飲物、軍手

●申込・問い合わせ先/五十鈴塾事務局(担当:東雲、石上)
Tel.0596-20-8251 Fax.0596-20-8253

宮川流域ルネッサンス円卓ワークショップ 「めざす宮川流域像についてみんなで考えよう」

●とき/4月8日(土)PM12:30開場 PM1:00～PM5:00
※終了後に簡単な茶菓子などを用意しての交流会を予定。

●ところ/県伊勢庁舎大会議室(伊勢市勢田町622)

●参加費/無料(交流会へのご参加は300円)

●内容/宮川流域ルネッサンスでは、共有できる目標を明確にし、その“共通の想い”“目標”に向かって、連携して取り組んでいけるよう、円卓ワークショップを開催します。今一度原点に立ち返り、これまでの宮川流域ルネッサンスではなかなか反映できていなかったご意見や想いも含め、皆さんとともに話し合い、“共通の想い”を創り上げていきましょう。

●申込方法/会場準備の都合上、できるだけ事前申込を。

●申込・問い合わせ先/伊勢市勢田町622 三重県伊勢庁舎内宮川流域ルネッサンス協議会(担当:佐野)

Tel.0596-27-5411 Fax.0596-27-5418

E-mail nimiyare@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.miyarune.jp/>

●主催/宮川流域ルネッサンス協議会、三重県

津市大谷町第一自治会防災講演会

●とき/4月8日(土)AM10:30～AM11:30

(AM10:00からの大谷町第一自治会総会後に開催)

●ところ/みえ酒造組合(津市大谷町141-4)

●内容/講師はNPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク主任研究員の広瀬満和さんです。広瀬さんは阪神・淡路大震災では被災者と応援に駆けつけた多くのボランティアをつなぐという活動をしました。その後、この活動のノウハウを伝えようと、日本災害救援ボランティアネットワークを設立しました。この講演会では阪神・淡路大震災の被災体験の他、地域でのさまざまな災害に対する備えの必要性と、具体的な対策についてお話いただけます。自治会主催の講演会ですが一般の参加も大歓迎、入場無料です。

●講演会の問い合わせ先/萩野 Tel.059-228-9384

アフリカうら側体験隊 第1弾 ニジュール

●とき/4月9日(日)PM1:30～PM2:30

●ところ/アスト津3F交流スペース(津駅東口アストビル)

●参加費/300円(お茶付)

●内容/アフリカ大陸には、私たちの知らない所や報道されない事がたくさんあります。そこで、色々なおもしろ体験をされた人たちのお話を聞いてみましょう。第1回目は、元青年海外協力隊員にニジュールでの生活を話してもらいます。合わせてフェアトレード・カフェも開催します(AM11:00～PM4:00)。

●主催/NGOセンターみえ、ESDイン三重、フェアトレードコーナー抱

- ところ／海の博物館集合
- 参加費／大人1000円・高校生まで500円

(入館料・材料費・標本送料)

※2枚目の標本(A4)から1枚につき50円の追加料金となります。

●内容／春の大潮の時季、楽しく海藻のことを学べます。午前から博物館近くの海岸で自然観察会と海藻採集を行い、昼食を取ります。午後は博物館に戻り、標本作りを行います。講師は海の博物館学芸員、平賀大蔵さんです。

●持ち物／お弁当・水筒・タオル・帽子・水にぬれても良い靴か長靴かビーチサンダル

●申込・問い合わせ先／鳥羽市浦村町大吉1731-68 海の博物館(担当:平賀) Tel.0599-32-6006 Fax.0599-32-5581

●主催／海の博物館、自然観察指導員三重連絡会

ネットワークのよびかけ

国際貢献フェスタ in みえ 2006プログラムの提案を募集します

国際貢献フェスタは、「みつめよう世界のこと みつけよう私のできることを」を大きなテーマとして、今、地球上でおきている様々なことを考え、地球市民として自分にできることをみつけてもらうことを目的として2004年から開催しています。

「行動する!」がメインテーマである今年度は、みなさまからフェスタで行うプログラムのご提案を広く募集し、事業を企画したいと考えております。みなさまのアイデアをどんどん聞かせてください!また、現在実行委員も募集中です。「こんなプログラムがあったら良いな」と思っているあなた!一緒に国際貢献フェスタを企画しませんか?(ご提案いただくプログラムは、実行委員会において検討された後、フェスタの中に位置づけられます。)

●応募締切／4月20日(木)必着

●提案方法／提案用紙に、プログラムの内容やねらいなどを書いて、E-mail、Faxあるいは郵送で、三重県生活部国際室まで。提案用紙は国際室のホームページからダウンロードできます。郵送希望者は電話等で連絡を。

●その他／今後実行委員会で、いただいたご提案を実施するかどうかを検討していくため、内容を変更する場合や実施しない場合もあり得ますので、予めご了承ください。なお、ご提案は実行委員会に帰属するものとします。

●申込・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 三重県生活部国際室 Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp ホームページ www.pref.mie.jp/kokusai/hp

カウンセリング実践講座

カウンセリングの学習は「対話のスキルと理論」と「自己理解」の両面があり、それらをバランスよく学ぶことで、身に付きます。本年は基礎講座として、「聴く」「語る」の学習をすると共に自己理解、他者理解をテーマに、グループワークを取り入れた講座です。豊かな人間関係を築くことで、援助し合う関係を目指します。講義内容は「人間関係とカウンセリング」、「自己理解の過程」、「描画による自己理解」他です。詳しくはお問い合わせください。

●とき／毎月第2木曜、土曜(都合により講座日を変更する場合があります)

●ところ／みえ親子・人間関係研究会研修室(津市大倉13-19 JR阿漕駅前アコギビル2階)

●受講料／30000円

(今回入会の場合入会金10000円、年会費30000円が必要)

●募集人数／各クラス15人(定員になり次第締切)

●申込・問い合わせ先／NPO法人みえ親子・人間関係研究会

Tel.&Fax.059-246-5562 河合Tel.059-227-4619、090-7047-2525

助成金 ニュース

地域活動支援事業補助金

●受付期間／4月1日(土)～5月19日(金)必着

●補助の目的／三重県の生涯学習振興の一環として、地域における社会教育関係団体の事業の充実や、社会教育関係団体を基盤とした地域社会の形成を図るために、社会教育関係団体が行う地域活動に対して、事業にかかる経費の一部を補助します。

●補助の対象となる団体／A 社会教育法第10条に規定された団体で、全県的あるいはそれに準ずる広域にわたって社会教育活動を行っていること。B 定款、寄付行為又は規約を有し、団体としての意志決定により事業の執行ができること。かつ、独立した経理及び監査の機能が確立していること。C 団体の実績が客観的に認められること。

D 活動の本拠となる事務所が三重県内に置かれていること。

E 三重県内に住所若しくは勤務先があるものによって構成された団体。

ただし、AからEの要件を備える団体であっても政治活動、宗教活動、営利事業を主たる目的とする社会教育関係団体は補助金対象から除外。

●補助の対象となる活動／生涯学習振興のための社会教育活動に係る事業で、概ね次に掲げるものとし、一つの団体について一つの事業を補助対象とします。ただし、全国規模あるいはそれに準じる規模で行われる事業は、除外。

A 大会又は行事の事業 B 調査研究又は資料の作成、配布の事業

C その他必要と認められる事業

●対象事業の期間／平成18年4月1日～平成19年1月31日

●助成の額／補助対象経費の1/2以内、上限15万円。

●問い合わせ先／県教育委員会事務局生涯学習室社会教育グループ「地域活動支援事業」係 514-8570 津市広明町13番地

Tel.059-224-3322 Fax.059-224-3022

E-mail ooshit01@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/SHOGAKU/hp/>

「川に学ぶ」活動助成

●受付締切／4月21日(金)必着

●助成の対象となる団体／市民団体、学校等の非営利団体。

●助成の対象となる活動／1、河川・海岸等の水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動。

2、河川・海岸等に関係するセミナーやスクールの実施、情報の提供、川を活かしたまちづくり(『かわまちづくり』)に資する検討・啓蒙等の諸活動など等の活動。

●対象事業の期間／平成18年4月22日～平成19年1月31日

●助成の額／1活動あたり上限10万円。助成件数は80件程度。

●応募方法／応募様式はホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／財団法人リバーフロント整備センター「川に学ぶ」活動助成事業事務局(担当:研究第一部 山木) 102-0082 東京都千代田区一番町8番地 一番町FSCビル Tel.03-3265-7121 Fax.03-3265-7456 ホームページ <http://www.rfc.or.jp/>

(財)損保ジャパン NPO法人設立資金助成

●受付期間／4月1日(土)～30日(土)消印有効

●助成の対象となる団体／障害者・高齢者を対象とした、主として在宅福祉活動を行う団体で、平成18年度中にNPO法人の設立認証申請を行うもの。

●助成の額／1件30万円

●応募方法／応募要項・申込書は送付先明記のうえ、下記までFaxまたはハガキで請求するか、ホームページからダウンロード。申請は郵送にて。

●問い合わせ先／損保ジャパン記念財団社会福祉助成係

160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル37階 Tel.03-3349-9570 Fax.03-5322-5257

E-mail fvvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

ホームページ <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/>

(財)庭野平和財団 活動助成(前期分)

●受付締切／4月30日(日)必着

●助成の対象となる団体・個人／個人・団体のいずれでも申請できます。(一

個人、一団体に付き一件の申請に限り申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることを原則とします。

●助成の対象となる活動／【1、宗教的精神に基づく社会・平和活動】
神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与しようとするものであり、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・ボランティア活動・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策などの活動。

【2、地域のエンパワーメントを創生する活動】

地域のエンパワーメントを創生するために、様々な団体・個人がともに深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動の相乗効果による新しい価値観の創造を期待します。

●助成の額／1件あたり上限100万円。

●応募方法／申請書類は下記のホームページからダウンロード。なんらかの事情で、ダウンロードできない場合は、当財団へ電話、Faxまたは、E-mailにてご連絡ください。申請は郵送にて。

●問い合わせ先／(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャンヴィア・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4371 Fax.03-3226-1835 E-mailinfo@npf.or.jp

アジア次世代リーダーフェローシップ

●受付期間／4月11日(火)～5月5日(金)消印有効

●調査・研究内容／人文・社会科学分野における関心事項をテーマとする調査・研究。将来的にもアジア・大洋州地域との共同研究や共同作業が企画・実施される可能性が高いテーマでの調査・研究を優先します。(非営利スタッフの大学での研究、大学院生のNPO調査も対象とします)

●助成の対象となる個人／応募時に以下のすべてに該当する方。

(1)日本国内の大学院に在籍し、アジアを主要な研究対象としている人文・社会科学系の大学院生もしくは、国際交流・国際協力の分野でアジア地域との共同作業を進める日本国内の非営利団体(NGO/NPOの他、地方自治体国際交流協会を含む)の専従スタッフとして2年以上の経験のある方。

(2)年齢が40歳以下の方。

(3)対象国での調査・研究を行なう上で必要な語学力を有する方。

(4)日本国籍を有する方、もしくは日本国に永住を許可されている方。

●助成の対象となる国／アジア・大洋州諸国(東アジア、東南アジア、南アジア、大洋州)詳細はホームページなどを参照。

●調査・研究期間／3カ月～1年(平成18年9月～平成19年3月末)

●募集人数／4～5人

●応募方法／募集要項はホームページからダウンロード。応募時は封筒に「アジア次世代フェローシップ応募書類在中」と朱書のこと。

●問い合わせ先／(財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)アジア次世代フェロー係 107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 赤坂1丁目森ビル4階 Tel.03-5562-4422 Fax.03-5562-4423

ホームページ <http://www.jpfc.go.jp/>

社会貢献支援財団 表彰候補者推薦

●受付締切／5月15日(月)必着

●推薦対象／国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げながら、社会的に報われることの少なかった方。

●表彰部門と賞／【第一部門】「緊急時の功績／日本財団賞」海難・水難、交通事故、遭難、犯罪等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績。(原則として平成17年4月1日以降の功績を対象として、当該行為により亡くなられた方も含まれます)

【第二部門】「多年にわたる功労／日本財団賞」困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績。

【第三部門】「特定分野の功績／日本財団賞」

(1)海の貢献賞／海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績。海に関わる産業分野において(長年の経験を持ち、技能が傑出している方の功績。その分野を大きく前進させる発明・考案・改良などをなされた方の功績)。海に関わる文化の発展・保存・伝承などに貢献された功績。

(2)国際協力賞／日本(人)が関与する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績。

(3)ハッピーファミリー賞／多くの子供を育て苦勞を重ねながらも明るく生きてこられた方や、親や家族の尊さを自覚しそのために尽くす若者の功績。

(4)21世紀若者賞／自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績。

●副賞・賞金／21世紀若者賞は20万円。それ以外は100万円。

●応募方法／郵送・Faxの場合、推薦用紙を取り寄せるか、ホームページからダウンロードして使用。インターネットの推薦フォームも利用できます。

●問い合わせ先／社会貢献支援財団 105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 Tel.03-3502-0910 Fax.03-3502-7190

E-mail fesco@mve.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.fesco.or.jp/index.html>

富士フィルム・グリーンファンド助成金

●受付締切／5月15日(月)消印有効

●助成の対象となる活動／【活動助成】

身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的に行っていること。

【研究助成】

身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等。

●対象事業の期間／贈呈日より1年。内容によって2年利用することも可能。

●助成の額／両助成合わせて助成金額は650万円を予定。助成件数は3件程度。

●応募方法／助成基金名・住所・氏名を必ず記入して、ハガキまたはFaxにて下記まで応募要項を請求してください。下記のホームページからダウンロードすることも可能。

●問い合わせ先／公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局 110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 (財)自然環境研究センター内 Tel.03-5824-0955 Fax.03-5824-0956

ホームページ <http://www.jwrc.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

イベント報告 貸切バスで行く!第2回三交クリーンアップ・ウォーク活動報告! 三重交通清掃隊事務局

第2回目を迎えた三交クリーンアップ・ウォーク!今回は、3月11日(土)に約80名の方に参加していただきまして、七里御浜海岸・松本峠の清掃活動を実施いたしました。

現地では、清掃活動の前に、花の窟(いわや)にて「語り部友の会」の花尻会長に東紀州の歴史や花の窟、獅子巖(ししいわ)、松本峠のお話をしていただき、参加者の方々も熱心に耳を傾けていました。また、花尻会長には清掃活動にもご参加いただきました。

活動内容は海岸を2km、峠を2km清掃しました。海岸ではペットボトル、缶、ビンなどを中心にゴミ袋いっぱいゴミが集まりました。特に国道寄りの砂浜には車から投げ捨てられたと思われるゴミが目立ち、参加者の方もゴミ拾いに一苦勞でした。一方で松本峠はほとんどゴミもなく峠を歩く方のマナーの良さに感心しました。花尻会長には「市外からおいでいただいたたくさんの方に清掃していただいて大変ありがたい」とのお言葉をいただ

きました。

帰りのバスの車内でアンケートを実施したところ、「今後も是非参加したい」「年に数回開催してほしい」などの声も多く聞かれて、事務局としても今後も継続して三交クリーンアップ・ウォークを実施していきたいと考えております。また、参加者の半数近くが、初めてのボランティア清掃活動だったということで、普段一人ではボランティア活動を実行しにくいと考えている初心者の方にもいいきっかけになったのではないかと思います。



清掃の様子。

▶▶▶ 伊勢市 ▶▶▶



いせ市民活動センター
パルティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時 <http://skc.e-ise.net>

**4月2日(日)
 チャリティーバザー
 &コンサート開催**

●会場/いせ市民活動センター
 北館いせシティプラザ1階ホール

●いせ市民活動センターでは市民活動支援として「チャリティーバザー&コンサート」を開催します。チャリティーコンサートで集められた募金は市民と行政が一緒になって子どもの心を受け止める「24時間フリーダイヤル相談電話」事業、「オレンジの羽根募金」に寄付されます。



- 午前11時～午後5時30分
登録団体によるバザー、パネル展示、活動発表等。
- 午後2時30分～午後5時30分 コンサート
出演予定者
14:30～15:00 『ブリアマール』 フラメンコ
15:15～15:45 『緑海舞遊会』 沖縄民謡とエイサー
16:00～16:30 『和倫』 二胡のグループ(約10名)
16:15～16:45 『MIYAMA』 フォークソング
17:00～17:30 『141ゴスペルクワイア』 ポップなゴスペルソング



会合、情報発信に...
 chchご利用ください!

4月8日(土)9日(日) 開催!
 午前10時～午後4時(両日共)
 伊勢の特産・名産品が勢揃いする
 大好評イベント **「伊勢祭市」**
 パルティマーケットも出店します。
 会場: 伊勢市駅前～伊勢神宮「外宮」周辺

いせ市民活動センター
パルティいせ
 伊勢市岩渕1丁目2番29号
 TEL 0596-20-4385
 FAX 0596-20-4386
 Email/skc@e-ise.net

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会 が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

ネットワークの
 各地の

▶▶▶ 伊賀市 ▶▶▶

W.T.Aまちづくりセン.情報

〒518-0267 伊賀市上野橋馬場3317 代表 中野 三
 Tel: 0595-24-7612. 011-3302 1127
 X-ll: nag: 47.4.3@yahooc.cc.jp
 Web: <http://blog.goo.ne.jp/w.t.a-motisen/>

中野三恵子様
 花当落子ネットワークの交流会
 7月14日(土) 開催
 株々々 事務所から 伊賀
 十人参加、20名参加、20名
 参加してあります。
 2011年10月開催予定。
 お気軽にご参加下さい
 4月10日(日) 13:30～
 アサヒホール

3月21日 伊賀市の活性化
 2011年10月開催予定

伊賀市市民活動支援センター
 伊賀市(市)12-30-1 伊賀市民センター
 518-0267 伊賀市馬場1128番地 多目的集会施設内
 15:00～17:00 伊賀市市民活動支援センター
 伊賀市市民活動支援センター
 伊賀市市民活動支援センター
 伊賀市市民活動支援センター

<http://idokku.pref.shizuoka.jp/kyeidou/kyeidou.html>

伊賀市市民活動支援センター

4月です。開設して丸1年になりました。1年間の
 いろいろな情報やデータをもとに、平成18年度の支
 援センターの活動に活かしていきます。

住民自治協議会は、あと1箇所を残し、37
 地域が設立されました。現在は地域まちづく
 り計画や平成18年度の事業計画の策定に取り
 組んでいただいているところです。また、さ
 まざまな情報を発信していきますので、今後
 ともどうぞよろしくお願い致します。

市民活動団体のための労務研修会の報告
 伊賀市のホームページに、議事概要と
 資料一式、参加者にご記入いただいたア
 ンケート意見を集約し、公開しております
 ですので、ご活用ください。
 (伊賀市HPトップページ→(中央の図)暮らし
 →(左メニュー下部)市民活動→(市民活動のメ
 下部)市民活動団体のための労務研修会)

〒518-1395 伊賀市馬場 1128番地 多目的集会施設内
 TEL:0595-43-1135 FAX:0595-43-2205
 Eメール: igasksc@ict.ne.jp
 ホームページ: <http://www.city.iga.lg.jp>
 HPブログ: <http://blog.goo.ne.jp/igasksc/>

休館日: 月曜日・年末年始(臨時休館あり)
 年末年始の休館日は、12/28～1/4です。
 開館時間: 午前9時から午後9時
 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要です。)

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。趣味で始めた竹細工をきっかけに人との繋がりを広げた久保美文さん。今回紹介して下さった一見八郎さんとの出会いも、竹細工の一つであるスーパー竹トンボがきっかけでした。

道の駅・駅長としてまちおこしを企画

……一見さんは旧関町の生まれなのですか？

生まれは東京で、第二次世界大戦終戦間際に父方の実家である関町に越して来ました。その後、東京でガラス関係の会社に勤めていました。ここでは道路を長持ちさせるために、アスファルトに混ぜるガラス繊維の開発などをしていました。道路がひび割れたり、へこんだりするでしょう。このガラス繊維はそれを防ぐものです。町並みの景観舗装にも取り入れられていますよ。

……東京では何か市民活動をされていましたか？

勤めていましたからボランティアとかはできなかったのですが、目黒区民合唱団の創立に関わり、こちらに越すまで広報部長や副団長をしていました。ベートーヴェンの第九を歌おうと呼びかけたところ、100人以上の人が集まってくれて十数年前に創立しました。趣味の会ですから、ジャンルを越えていろいろな人と巡り会えましたね。メンバーの中にはボランティアをされている方もいました。

……こちらに戻ってきたのは？

2000年です。戻ってきた時に同級生から「新しくできる道の駅関町の駅長を公募している」と教えてもらいました。仕事を辞めたら世の中や人に役立つことをやりたいと思っていましたし、たくさんある趣味もいかせるし、ぜひ駅長になりたいと思いました。14人応募したそうですが、採用してもらえらることになりました。当時は新聞にも取り上げてもらって、いっぺんに地元の有名人になりました(笑)。

……どんな試験だったのですか？

面接と小論文です。関宿は昔の街並みを保存してもらっていたから、これを全国にPRするためにも世界遺産にしたいと書きました。僕は旅行が好きで、世界遺産に登録された街並みもたくさん見てきたものだから、それらを例に挙げました。熊野古道が選ばれたことで世界遺産も有名になりましたが、当時は誰もそんな言葉に見向きもしませんでしたね。

……駅長になってどんなことを実行されましたか？

関の街並みを全国に知らせたい、それを利用してまちおこしをしたいというのが駅長だった僕の願いでした。ですから、たくさんの人に来てもらうために2か月に1度のペースで催し物を続けました。その頃、国道1号線沿いには4つしか道の駅が無かったのですが、この

4つの連携を行いました。また、東海道400周年を記念して東海道宿駅アラカルト展も行いました。東海道の宿駅から名物やポスターを取り寄せて展示したのです。このほか、鈴鹿馬子唄にも謡われる関の小万、この方は関町で生まれ育って、女性でありながら父の仇討ちを果たしたことで有名ですが、その没後200年のイベントも行いました。前回、インタビューに登場された久保さんと知り合ったのも道の駅イベントがきっかけです。

……それはどんなイベントでしたか？

スーパー竹トンボです。この竹トンボは僕が東京から資料を持ってきて、広めたのです。教えてくれたのは東京で知り合った趣味仲間です。この時は三重県内からたくさんの方が参加してくれました。「スーパー竹トンボって、普通の竹トンボとどう違うの?」と興味を持ってくれたようです。実際に飛ばしてみるとずいぶん飛ぶものだから、皆さんびっくりしていました。

……イベント以外で気をつけたことは？

まず後継者の育成ですね。僕がいつまでも駅長を続けるのではなく、誰かを育てなくてはいけないと思いました。今は男女共同参画の世の中ですから、ぜひ女性の駅長を誕生させたいと思って、スタッフを育てました。今、その方が駅長をされています。あと、中学生の職場体験学習で毎年、夏休みに3人ほど受け入れています。

……中学生に特に伝えたいと思ったことは？

整理、整頓、清潔、清掃の4Sを若い時から心がけるように話しました。これは子どもたちだけではなく、道の駅のモットーでもあります。僕は道の駅関宿には吸い殻一つ、落ちていないことを目標にしています。道の駅は町の玄関ですから、綺麗にしておかないといけません。自分の家の玄関と同じです。今でも僕はゴミや吸い殻をポイ捨てする人を見たらすぐに注意します。捨てたらすぐ拾って注意することが大切ですね。

……なかには反撃してくる人もいるのでは？

いますが、僕は正論を言っているのですから、それは買かなければダメですね。

自然相手が好きだから…環境分野で様々な活動

……道の駅の駅長を退いてからは、どんな活動を？

市民活動的な物では環境方面の活動をいろいろしています。一つは伊賀市の森林公園と菟野町の県民の森の手入れなどをするボランティア、モリメイトです。メンバーはずいぶん減ってしまって、今は10人ぐらいですが、みんな熱心にやっていますよ。間伐や森の手入れのほかに、ドングリの森づくりやシイタケの菌うち、音楽会、樂箱作りなどイベントも行っています。

……活動日は？

正式に決まっているのはそれぞれ月1回ですが、それ以外にも伊賀市は週1回、有志で森の手入れなどを行っています。僕は伊賀市と菟野町の間に住んでいるので両方に参加していますが、なかなか週1回の活動には参加できないでいます。

……その他の団体には？

僕が代表をしている関宿里山を歩く会があります。メンバーは20人ぐらいです。最初は山歩き好きの人に「一緒に行かないか」と声をかけたのです。なかなか一人では行けないでしょう?あとはクチコミ

一見八郎 さんに

聞く



と、広報に記事を掲載してもらったことで集まってきました。周辺の里山を歩いて楽しみながら、自分の住む地域を見直しています。あと、3~4人の有志で近くの里山を掃除したり、間伐したりしています。整備して、誰もが簡単に散策できるようにしたいと思っています。僕は山歩きしながらでもゴミを拾います。一緒に歩いている人はびっくりしますけど。でも、最近はずいぶんゴミも減ってきました。……特別企画などもあるのですか？

邦楽の演奏会を数年前から行っています。津市芸濃町と亀山市加太町の間に錫杖岳(696M)という山がありますが、この山から十四夜の月が出てきた風景から作られた「峰の月」という尺八の名曲があるのです。モリメイトの仲間に都山流尺八楽会のお師匠さんがいて、彼がその曲を教えてくださいました。ちょうど、錫杖岳頂上のすぐ下にあった東屋を再建した時で、その落成を記念して演奏会を行うことになりました。それから毎年、演奏会を行っているのですが今年はその曲ができて60周年に当たるので大々的にイベントを行いたいと思っています。

思いついたことはやらないと 気が済まない

……今もイベントを開催されているのですか。
自分でもいろいろ見つけてやっていますが、頼みやすいからか、みんな声をかけてくれるようです(笑)。このほかに、亀山市の環境市民記者にもなりました。

……それはどんなことをするのですか？
亀山市総合環境研究センターというのができて、三重大学の朴恵淑先生がセンター長をされています。そのセンターで年4回「エコかめやま」という新聞を発行するにあたって記者を募集したのです。冬に創刊号が出て、春に出す2号の記事を最近、渡したところです。亀山市の広報に挟み込んでもらうので、亀山市全戸に配布されるのですよ。

……どんな記事を書くのですか？
環境に関わることで、一般の新聞にはあまり掲載されないようなものですね。そのなかで自分が興味を持って、面白いと思える物を探しています。創刊号は市長や朴先生の挨拶などで紙面が埋まったので、僕ら市民記者はそれぞれ数行のコメントを寄せただけですが、次からはきっちり書いていきますよ。僕は道路にはみ出している生け垣についての記事を2号用に使いました。自分の住む所を別の視点で見つめ直すというか、なかなか気づかないけれど、言われてみればそうだなと思うようなことを逐一報告していきたいと思っています。あとはゴミの問題を基本的に取り上げていくつもりです。

……ゴミの問題となると行政にとって耳の痛い話もあるのでは？
自分で情報を集めて、市民記者の目で調べて書くのですから、行政では言えないことを、記事に取り上げていくべきで、都合の良い記事しかできないようなら辞めるからと、最初に話してあります。都合の良い記事しか書かないようでは意味が無いでしょう。あとは実践ですね。記者のメンバーにも「記者になって書くだけじゃダメ。実践しないと」と言いました。

仕事と趣味のノウハウを市民活動にいかす

……退職後は市民活動をしようと思っていたのですか？
僕はユースホステルを経営したいと思っていたのです。旅好きです



上はモリメイトの仲間たち。
右は関宿里山を歩く会の様子です。



から、学生時代からユースホステルを使って、日本中を旅して回りました。新婚旅行もユースホステルを利用しました(笑)、子どもともよく出かけました。

……ユースホステルの経営者は個人なのですか？
個人だったり、地方自治体だったり。いろいろですね。各経営者が日本ユースホステル協会に申請を出して許可をもらえば、ユースホステルとして開業できます。

……市民活動団体が経営している所もあるのですか？
聞いたことはないですけど、今ならあるかもしれませんね。ユースホステルの経営者はユニークな人が多いですよ。昔は私財を投げ打ってというか、自宅を開放している方もいましたし、お寺さんがユースホステルを経営している所もありました。基本的に儲け主義ではなくて、ボランティア精神で運営されていますね。

……昔は若い人の旅行と言えばユースホステルでしたね。
今また人気が回復してきているんですよ。我々のようなシニアが利用しているようですし、家族ルームもあります。僕はユースホステルでホスピタリティーの精神を学んだと思っていますから、今でも大好き。それに日本ユースホステル協会の会員として全国研究集会にも参加しています。勤めていた時には会社を休んで研究集会に参加したこともあります。昔、その集会で一緒になった方と意気投合して、「いつか一緒にユースホステルの発祥の地であるドイツに行こう」と約束したのですが、一昨年、ついに約束を果たし、15日間でユースホステルを利用してドイツ国内を廻ってきました。

……仕事や趣味などが今の活動に活かされているのですか。
仕事で学んだ4Sは僕の基本ですし、趣味と市民活動の境目もないですね。趣味を生かして市民活動をしているというか。上手くマッチングしたというか、させたというか(笑)。友人には「いいなあ」と言われます。お金をかけずに、好きな時にできて、ノルマも無い。それが一番いいです。

……旅行以外のご趣味は？
まず合唱。腹式呼吸ですから、健康にも良いですよ。こちらに戻ってからは鈴鹿混声合唱団に入っています。あと、正調鈴鹿馬子唄保存会、関宿町並み保存会にも入っていますし、男女共同参画事業推進会議のメンバーでもあります。それにケーブルテレビが亀山市で放映している番組のアナウンサーも務めることになりました。ここまではお金がかからない趣味。唯一、お金がかかるのは年に1~2回出かける海外旅行です。とは言ってもユースホステルを利用した安上がりな旅行です。今度、ポーランドへ東京の合唱仲間と一緒に第九を歌いに行きます。

……それでは休むヒマがありませんね。
僕は断るのが苦手で、つい何でも引き受けてしまうのです。でも、元々じっとしているのイヤだし、思いついたことはやらないと気が済まない(笑)。スケジュールはもういっぱい、会議の日などが重ならないようにするのが大変。趣味も、練習日などが重ならないように作っているぐらいです(笑)。

一見八郎さん
住所/亀山市関町木崎179 Tel.090-2314-8068

一見八郎さんはこの人を紹介します。

桂 宏さん
一見さんが参加する鈴鹿混声合唱団では指揮を担当しているという桂さん。木工細工など趣味も多彩です。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。
Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。